

電子極軸望遠鏡

SS-one ポーラー

カメラの向きの調整方法

センター出し作業で、中心が青枠から外れる場合に、スペーサーを使ってカメラの向きを調整するための作業です。

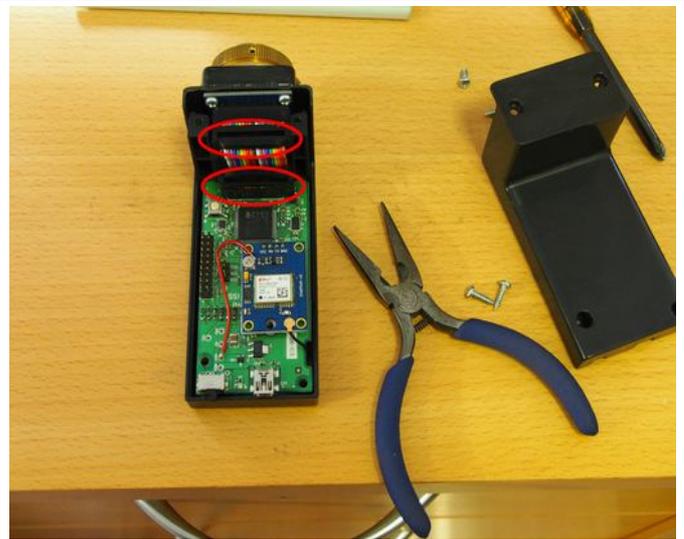
カメラを分解します。
赤丸の4か所のネジを外します。

ネジの長さは2種類ありますので分けて保管してください。



赤丸の2か所のコネクタをペンチなどでそつと引き抜きます。

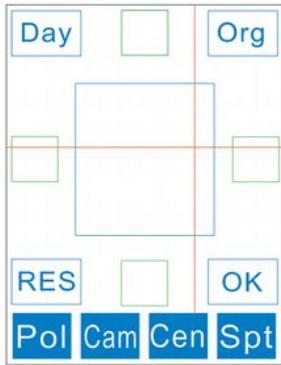
ただ刺さってるだけですから、そんなに力を入れなくても抜けます。



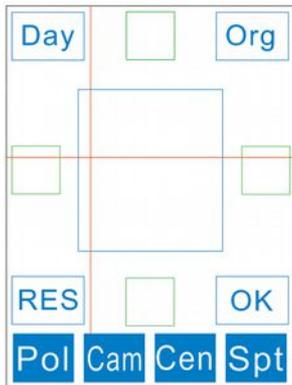
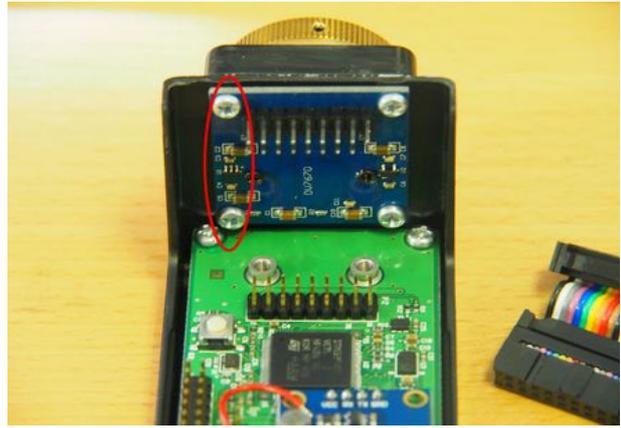
赤丸の裏側にある2か所のネジを外し、支柱を取り除きます。



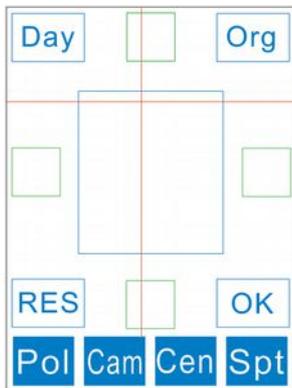
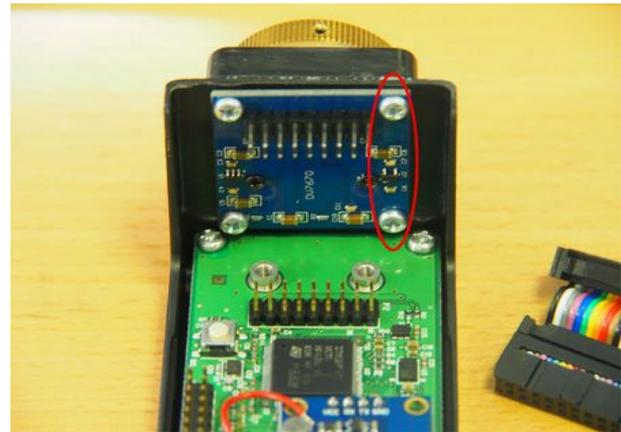
●カメラモジュールを外す前に、どこにスペーサーを入れるか確認します。



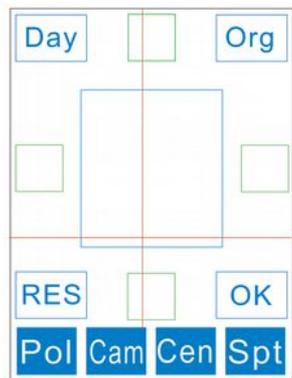
中心が、右寄りの場合、
左側にスペーサーを入れます。



中心が、左寄りの場合、
右側にスペーサーを入れます。



中心が、上よりの場合、
下側にスペーサーを入れます。



中心が、下よりの場合、
上側にスペーサーを入れます。



スペーサーを入れる位置が確認できたら、その反対側に既にスペーサーがないか確認してください。

反対側に既にスペーサーがある場合は、そのスペーサーを外すだけでよいです。

スペーサーの確認ができたなら、カメラモジュールを外します。



カメラモジュールにスペーサーを取りつけます。



カメラモジュールを元に戻します。

ネジはきつく締めつけいないように注意しましょう。

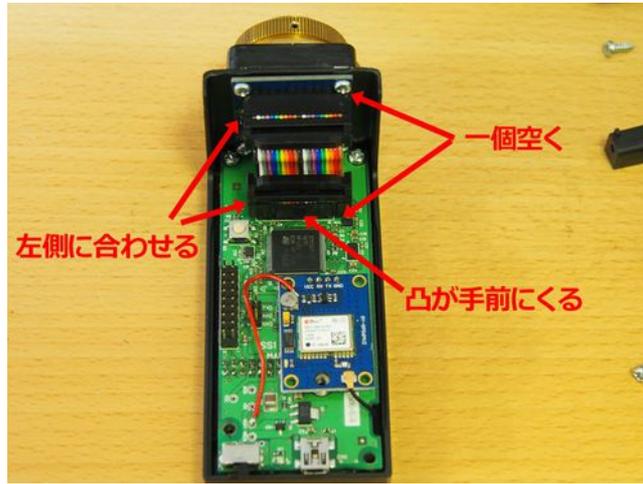
誤って、きつく締め付けすぎ、ネジ山を壊してしまった場合は付属の長いネジをご利用ください。



この時点で、完全に組み立てるのではなく、とりあえず、コネクタだけさして、もう一度センター出し作業をしてみましょう。

コネクタをさす場合は以下の点に注意してください。

- 1 オス18P、メス20Pですので、左側がそろそろようようにして下さい。右側1個分は空きます。
- 2 下のコネクタの凸部分が手前にくるようにして下さい。



この時点で、再度センター出し作業をし、センターが青枠の中に入ることを確認したら、完全に組み立てます。

まず、支柱をネジで固定します。



コネクタを再度、さします。



ケースの裏ぶたを付けてネジで固定します。

後ろ側2個のネジは、長いのでたくさん回さないと完全に固定できません。

ケースの上側と下側を指で開いてみて、隙間ができるようなら完全にはネジがしまっていない。

2つのケースが完全に固定されて動かなくなるまで締めつけてください。

このネジは少し力があるので大きめのドライバを使うのがコツです。

